中高生の皆さんへ

犯罪実行者募集の実態

～若者を「使い捨て」にする「闇バイトの現実」～

犯罪に加担するまでの基本的なパターン

① 募集情報への応募

自らX（旧ツイッター）等のSNSで「高額報酬」等を検索して応募
（闇バイト募集情報の特徴：仕事内容を明らかにせず、高額な報酬を提示）

② 匿名性の高いアプリの利用

応募後、匿名性の高いアプリ（シグナル、テレグラム等）をインストールするよう誘導され、以後、同アプリを使ってやりとり

③ 個人情報の送信

犯行グループから、言葉巧みに個人情報の送信を求められ、言われるがまま身分証明書、顔写真などの画像をアプリで送信

④ 犯罪の実行

業務内容（犯罪行為）が明らかにされ、拒否すれば個人情報を基に脅され、犯行グループから抜け出すことができずに捕まるまで犯罪に加担

検挙された若者の声

犯行グループが指示する業務等の内容

・「やる気があればたくさん稼げる」「仕事にもよるが１日10万円以上は確実にもらえる」と荷物受け取りの指示を受けた
・最初は「簡単な運搬の仕事」と説明されたが、後に「報酬を上積みするから違う仕事をして欲しい」「知り合いのオーナーの金塊を取ってきてもらう」と指示された
・「相手は詐欺をした奴だから何をしてもいいので金を奪え」「相手は悪いことで金を得た奴だから警察には通報できない」と指示された

犯行グループ等による脅迫行為

・誘ってきた先輩は怖い人として有名で断ると何かされるかもしれないと思い、指示されたとおり実行することを決めた
・ワイヤレスイヤホンで指示役から「家に入れ」と指示が来たので口答えすると血だらけの他人の写真が送られてきた
・指示役から「家の中に人がいたら、力で押さえつけていいから」ということを言われ、従わざるを得なかった

「使い捨て」の実態

・SNSで「闇バイト」に応募した先輩に誘われ「受け子」をしたが、手に入れた現金は全て指定口座に振り込まされ、報酬は一切支払われなかった
・「報酬は後でまとめて支払う」と言われていたが、結局一度も支払われることがないまま逮捕された
・受け子としてキャリーケースを持って全国を転々とさせられ、逮捕されるまでホテルや漫画喫茶に寝泊まりしながら犯行を続けた

安易な考えから犯罪に加担しエスカレート

・過去に特殊詐欺の受け子などの経験があったので「どんな案件でもできるだろう、金を手に入れてやろう」と思い応募した
・小遣い以外で自分で自由に使えるお金が手に入ると思い「やります」と答えた

犯行前後の心境・同じ過ちを犯さないために伝えたいこと

・犯行グループから脅されて、やりたくないけど抜け出せず、後悔しているので、すぐに警察に相談してほしい
・今後も犯行グループからしつこく誘われないか、家族に影響が及ばないかと思うと不安で仕方ないので、絶対に応募しないでほしい
・「闇バイト」に手を染めれば必ず捕まる、家族に相談するなど勇気を持って断ってほしい

闇バイトはアルバイトではなく犯罪！
たった一度でも犯罪行為に加担すれば犯行グループからの離脱は困難です！
応募後でも、「闇バイト」かもしれないと思ったら、すぐに家族や先生、周囲の大人や警察に相談を！

北　海　道・北海道教育委員会・北海道警察